

高山洋吉 たかやま ようきち 繡畫家、評論家。明治二十四年四月、千代田長野縣生れ、昭和五十年九月七日歿（一九〇一―五五）。大正十五年東京帝國大學經濟學部卒。雑誌記者・編者など。

譯書、スウェーデン・ヘーデン著「北京より莫斯科へ」（昭和十四年一月）、「日本生活社」、ハインリッヒ・パウエル著「支那鑛業論（支那及滿洲

國に於ける鑛富の研究）」（昭和十四年五月）、「千代田日本評論社」、

グスタフ・ヤタン著「国民主義―孫文遺囑」（昭和十四年十一月十日

育生社「現代支那史」、藤村石 泉美 編著「新東亞の初幕―西安五變實記」

（昭和十四年十一月五日）、「現代支那史」別巻）、ハインナー・レウイン

・ドムシ著「技術の起源（古代及び原始的な文化段階に於ける技術）」

（昭和十五年四月五日）、「日本評論社」、パウエル・ローバツハ著「バ

カン・トルコ」（東田書店編輯部譯編、昭和十五年十一月二十一日東

田書店「東田新編」）、ヘーデン（他二名）著「リヒトホーフエン

傳」（昭和十六年二月二十一日慶應書房）、ヤ・グランケンブルグ著

「米―世界、特に東南亞に於ける米作状況（並びに、米穀貿易の經濟地理的研究）」（昭和十八年二月十五日

科學主義工業社）、カール・

ビュヒナー著「労働とリズ

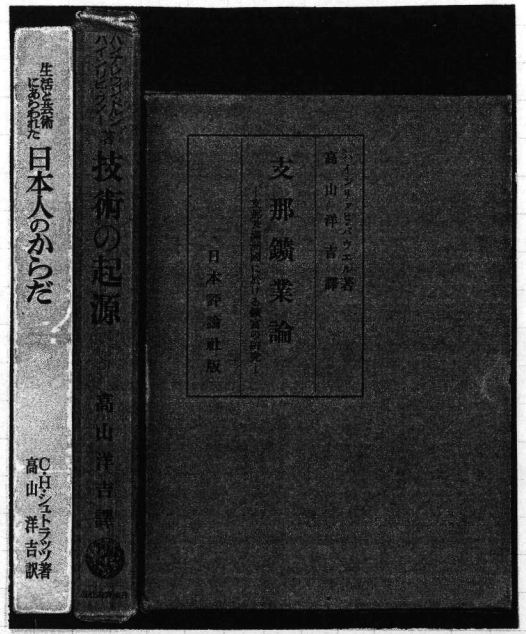
ム」（昭和十九年八月二十日

第一出版株式會社）、C・H

・シエトラッツ著「日本人の

からだ―生活と芸術のあらわ

れた」（昭和十九年十月五



日岩崎書店）、J・スタロビン著「ポー・チー・ミンの國―ザエトナ

△「縦断一千キロ」(昭和二十年二月五日門脇書店「新書シリーズ」)、
 ウイナー「性問題研究所編『娼婦の風俗史』」(昭和二十二年七月二十五
 日新生社)、『世界を渡る文化の言葉』全三冊(訳編、I—現代史の発端
 ・昭和二十四年十一月二十五日、II—西体制の相剋・八月二十五日、
 III—東風曲下の時代・六月二十五日誠信書房)等。

編著書、保科胤著『國民厚生運動』(編、昭和十七年六月二十日栗田
 書店)、H・S・チエンジレン著、保科胤譯『新世界觀の人類的基本
 礎』(補譯、昭和十七年十月二十日栗田書店「新世界觀叢書」)、『國
 際共產主義運動史』(昭和二十四年九月二十日山川書店)等。

